

川崎支部便り 第 68 号 (2023 年 09 月)

オープンで各自が主役：川崎支部

川崎支部支部長 山岸一雄 (執筆：山岸)

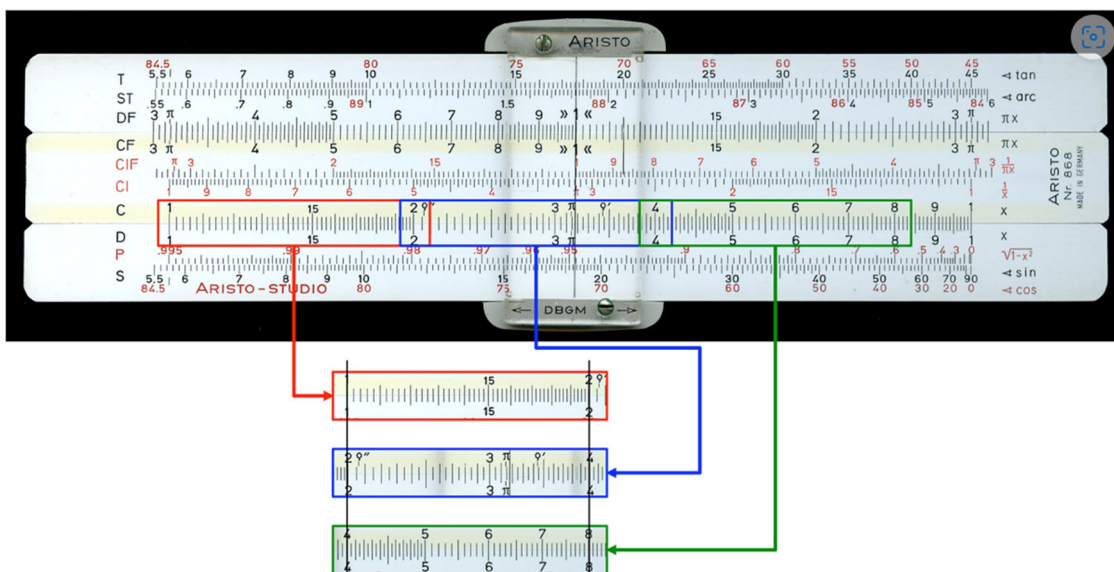
人生を豊かに (雑学のすすめ)

【計算尺とジブリの関係?】

1970 年頃までは「計算尺」が盛んに使われていました。「計算尺」は対数の原理を利用したアナログ計算機です。特に掛け算、割り算、三角関数、対数、平方根や立方根等の計算に使われていました。

計算尺は上下の固定尺の間の滑尺を左右にスライドさせるだけで、簡単に計算が出来ます。ニューヨークのエンパイアステートビルディング、パリのエッフェル塔、東京タワー等、世界の名だたる近代建築物は、どれも計算尺を使って設計されました。ジブリの長編映画「風立ちぬ」の主人公である航空技術者の堀越二郎が航空機の設計で計算尺を使っていました。

1966 年に撮影された、地球を周回中の有人宇宙船「ジェミニ 12 号」の内部写真には無重力状態で浮遊する計算尺が写っています。1969 年に人類初の月面着陸に成功した「アポロ 11 号」にも計算尺が持ち込まれていました。



(NEWTON 2022 年 6 月号から)

川崎点描：川崎支部活動拠点

【(世田谷区太子堂の空襲) ②】

10 万人の犠牲者を出した 1945 年 (昭和 20 年) 3 月 10 日の東京大空襲は、世田谷区でも前後 11 回の空襲を受け、焼失家屋 12,000 戸、罹災者 46,000 人の犠牲者が出ています。特に 1945 年 (昭和 20 年) 5 月 24・25 日の山の手の大空襲では、池尻・太子堂・三軒茶屋は総なめに合い、旭小学校、多聞小学校、世田谷区役所は全焼、東大原小学校、三宿小学校は半焼の被害に遇いました。太子堂 4 丁目は殆ど燃えました。この歴史を風化させてはならないとの思いで、聞き取りをした記録をお伝えします。

○ (S氏-太子堂2丁目)

夕闇が濃くなり、とっぷりとその日も暮れる中に両親との3人暮らしは何故かホッと憩っていましたが(24日午前2時に大空襲があったばかりだから)。そんな空気を打ち破るように「那智」が玄関をこじ開けて我々の部屋に飛び込んできました。その先が廊下です。その隅っこで、日頃雄々しい秋田犬の姿はなくブルブル震えてなんと尿を漏らしていました。

やがて来る驚天動地を必死に訴えていました(夜10時です)。我々3人は目と目で合図し合ったかと思うともう身支度をしていました。言葉は不要でした。父は大塚町会群団長としての士気の高揚、持ち物は鍵でした。母は鉄兜に防空頭巾、少々のお金が入った財布を身につけていました。私は肩掛けに鞆に召集令状の赤紙が入っているかを確認しました。「那智そこにいろよ」と叫びながら外に出て空を見回しました。今のところは変化が有りませんでした。

富士山(熱海)目がけて飛来するB29が八王子辺りでターンして、しかも世田谷通りの延長上をまっすぐ来ることを人間よりも5分も10分も早く察知したのでした。私たちの愛犬「那智」が失禁してしまう程におののきました。この5分、10分の差、間というか、主人公の心に決死の覚悟をさせ、そして冷静さにまで高揚せしめたか、計り知れないものが有りました。

ウールンウールンという爆音をやっとなんか捉ええることが出来ました。大編隊500機でした。電車道の東側に野砲連隊(現在の昭和女子大)があったので、飛行機から照準を合わされたのです。真上に来ました。「判っていたよ」と口にする暇もない程に、ザー・シュルシュルとそれこそザル一杯の栗芥子粒をばら撒く様に焼夷弾が降ってきました。正に無差別爆撃でした。今の246号線の東側が紅蓮(ぐれん)地獄化していました。西側は何とか消火に成功しましたが、延焼を食い止めなければなりません。玉電(現在の世田谷線)の電車道の両側は拡幅されていましたが、現在の成塚家具店横の橋和屋は大きな倉庫があるのでそのまま残され、その前の電車道の向こう側に一軒突き出して残されていました。この突き出した家を破壊消防しないと橋和屋が危険です。全く凄い話です。

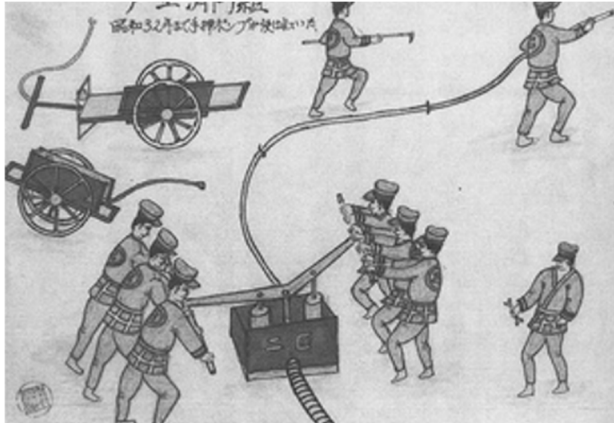


(上図の白色矢印は現在の橋和屋、赤色矢印はS宅、白色円は近衛野砲連隊-現在の昭和女子大でタレント壇蜜の母校)

東からの大火災特有の強風に火災は電車道を這っていました。真っ赤な木端(こっば)が次々と橋和屋に張り付きました。私は手押しポンプのホース係で、これでもかこれでもかと張り付く木端を消しました。勿論破壊消防している人々に水をかける、指揮している親父にも襖を抱えている母にもかけました。何か無我夢中になっていたのでしょうか、手押しポンプを操作していた人が誰だったか、どうしても思い出せません。ただ、今でも記憶に残っているのは井戸のポンプで頑張っていた少女の姿です。電

車道の西側のラインは、特に橋和屋さんを延焼から守り抜いたことで、私共の家を含めた、一条の帯となって残して頂きました。

お互いの健闘を讃え合いながら、夜がすっかり明けきれない中に帰りました。煙霧の中から我が家を見出した時疲れがどっと出て、両親と私は玄関にボタンと川の字になってしまいました。すると私の頬っぺたを舐めまわすものがありました。それは「那智」でした。有難う！もうお前は「物」ではなく「者」です。



(手押し消防ポンプと消防団)

(画像は Yahoo Japan から引用)

支部の活動

- ①2023年7月22日(土)は夢キャンパスで第24回定例講演会「川崎を詳しく知ろうー公害の町から住みたい街へ 武蔵小杉周辺の開発」(14時から)でした。

講演者は、元川崎市役所 まちづくり局 施設整備部 部長 木村弘一(建築OB-1984年卒)で、大盛況でした。

講演会の動画のリンクは以下です。御視聴願います。

<https://youtu.be/gwqB-efqEyg>

- ②中間総会：2023.10.22(土) 13:30 開始(世田谷キャンパス 1号館 13Q 教室)

・最新の世田谷キャンパスをご案内する、キャンパスツアーも実施(15:10 新7号館前に集合)

ご存じですか

【陸軍中野学校】

「陸軍中野学校」(中野校友会)をご存じでしょうか。中野学校5期生の渡辺秀生(ひでお)氏は、拓殖大学出身で軍隊に入隊した時に、前橋の陸軍予備士官学校から、話があるからと呼び出され現地に行くと、すれ違い際に、私服の男が中国語で何か話しかけてきたそうです。その後、「今、あの男は何を言ったか」と聞かれたのが、中野学校の試験でした。そのあとは、日本刀はどの様に作るかといった、唐突な質問が飛んできたそうです。それにどうやって答えられるかで、適性を判断されたそうです。

その後、渡辺さんは、ワタル機関という特務機関の機関長になってチンタオに行きました。その時の話です。向こうで誰かとコーヒーを飲む。相手は砂糖壺をすすめる。しかし、渡辺さんは先に

砂糖をすくえと相手に言う。相手が砂糖をすくってコーヒーに入れると、渡辺さんは相手がすくった後から自分も砂糖をすくって中に入れたそうです。要するに、中野学校では**砂糖に毒を入れて相手に飲ませるという訓練**をしていたのです。だから、自分から砂糖壺に先に匙を入れません。砂糖壺には半分だけ毒を入れて、残りの半分に普通の砂糖を入れておきます。それが良くやる方法だったので、必ず相手が入れるのを見てからしか入れないという習慣が身につけていました。

(佐藤優 宗教改革者より)

次号もお楽しみに。皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

問合せ・連絡先：川崎支部 幹事長 松本浩一

TEL：090-9363-6082 E-mail：kawa_matsu51@v00.itscom.net